

平成 24 年 11 月 21 日

## 11 月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は順調。平年より量は多いが、ヒノキの割合が少ない。順調な入荷が続き、スギは柱材の引合いは好調だが、中目材の引合いはやや弱い。ヒノキは、入荷が少なく、柱材、中目材ともに順調な引合い続く。秋恒例の展示会が開催され、多くの買方が来場したが、秋需の盛り上がりには欠ける。全般に強保合で推移しているが、スギは並材相場の底上げには至らず、ヒノキは出材量少なく、品薄感から強保合で値戻しが続くが、特に柱材の上げ足鈍く、昨年の価格には遠く及ばない。

群馬の製材工場の 10 月の操業は低調だったが、11 月は公共事業関連で生産は上向き。原木の入・出荷、在庫とも問題ないが、製品の販売状況は一般住宅向けが低調。スギ中目丸太の価格は頭打ちで不落も出始め、需要の低水準が伺われる。

### 2. 米材

9 月の米国新設住宅着工戸数は、前月比 15.0%増の年率 87.2 万戸。米国丸太は住宅着工戸数の回復により、地場製材の丸太需要が旺盛で、前月同様中国の買いも継続しており、価格は強含み。カナダでも同様にセカンド、オールドともに価格は強含み。産地の港頭在庫は、先月同様、出材低調だが出荷が増えているため、10 月末在庫は減少している模様。ウェアハウザー社の 11 月積み米マツ IS ソートは前月比 10 \$ アップ。米材丸太の入・出荷、在庫ともに横這い。大型港湾製材工場の 10 月の動きは、西日本は変わらず、東日本は販路がある工場は好調。内陸製材工場はバラツキはあるものの、総じて低調。

製材品の TLT(東京木材埠頭) 10 月入荷量は、36.1 千 $m^3$ で前月比 6.1%増。出荷量は 46.7 千 $m^3$ で同 27.6%増、在庫は 15.3%減。産地情勢は、伐採制限が解除され、生産は順調。米国住宅市場は引続き回復基調にあり、需要は堅調。今後、北東部を中心に大型ハリケーン被害の影響が懸念される。産地価格は堅調な需要に支えられ強保合で推移。当面価格を切り上げる動きは止まりそうにない。本格的な需要期を迎え、入出荷とも堅調に推移する見込。

### 3. 南洋材

サバは雨季の走りとし況悪化による生産調整から、出材量は減少。製材工場は依然高水準の原木価格、世界的な需要減、賃金コストの上昇から採算が取れず、一時的工場閉鎖も見られる。ただし、日本バイヤーも内地の市況悪化により当用買いが多く発注量が減少しており、現地の生産減の影響は少ない。

サラワクは雨が多くなってきたことや伐採減産の影響から、原木出材は減少に転じた。価格は大手のシッパー数社と日本バイヤー側の綱引きが続いている。

PNG・ソロモンは中国市場を始めとした市場の冷え込みから、出材・価格ともに低迷。

南洋材丸太の入・出荷はやや増加。在庫は横這い。製材品の入荷は減少。原木の販売は、合板・製材用とも低迷。製材品はフリー板、製材品、棒類等多くの物で動きが悪化している。

### 4. 北洋材

ロシア極東は日本向けエゾマツ、カラマツ丸太とも引合いが弱く、9月も全国にカラマツ丸太のみ1船入港という2ヶ月連続の低水準で、この傾向は10月も続いている模様。

シベリア地方は冬山造材の準備が進められているが、現在、現地の天候は悪く、伐採地はぬかるんでおり、搬出が遅れている模様。ナホトカからの出荷は11月末頃になると予測。富山新港の10月丸太入荷量は0、製品は7.5千 $m^3$ で前月比48%増。丸太の価格はエゾマツ、カラマツは強含みで、アカマツは横這い。製材品ではアカマツ製品のうち良材の荷動きは回復、アカマツの原板・完成品は横這い。丸太の在庫は0.5ヶ月位。国内製材工場の採算状況はエゾマツ原板挽きはトントンで、アカマツ丸太・原板挽きとも不採算。稼動状況は受注生産で受注は引続き低調。

### 5. 合板

国産材の丸太価格は横這い。慌てて手当てをする局面ではないため、当用買いに変わりなく、丸太在庫は適正水準の様子。南洋材丸太は、インドや中国の需要が回復傾向なことから、強含みで推移。9月の国内合板生産量21.3万 $m^3$ のうち、針葉樹合板は19.4万 $m^3$ で減産緩和が顕著。出荷量は19.2万 $m^3$ と直需関係を中心に、好調を維持しているが、生産を下回ったことで、在庫量は19.5万 $m^3$ と前月を若干上回った。針葉樹合板は、反転への材料が揃い始めていたが、結果的に価格は持ち上がらず、流通主導による弱含みの展開。市場では減産緩和が要因との見方が多く、メーカー側には再度、需給均衡に向けた生産調整へ

の要望が多い。国産南洋材合板の荷動きは、低調な状態が続く。針葉樹合板は一般ルートの荷動きが回復傾向。市場での手当ては、じり安の展開が継続していることから、先行きへの不透明さが強く、当用買いに変わりはないが、実需が出始めているため、手当ての速度は増している。輸入合板の荷動きは12mm厚品を中心に好調が続く。依然として、川上での価格転嫁は遅れているが、品薄品目から徐々に値戻しが浸透し、先高感が強くなっている状況。流通在庫は低水準で、針葉樹、南洋材合板ともに当用買いは暫く続く見通し。

## 6. 構造用集成材

原料・ラミナは順調に入荷している。ヨーロッパの状況があまり良くないので、生産が日本向けとなっていることから、生産遅れが発生しにくい状況となっている。年内の入荷は順調に推移していく模様。価格動向は、第4四半期の契約も固まり、前QTRスライドではほぼ決まっているが、為替相場が前回より円安になっていることから、日本円では1,500円/m<sup>3</sup>程アップになっている。輸入集成材は値上げ傾向。国産集成材の受注は横這い、販売・荷動きは若干良い。販売先行きは若干良いと予測。特記事項として、UPM（フィンランド）梁桁工場が12月で閉鎖。WWソリッド間柱は入荷減で品薄。国内相場は全般に上げの傾向。

## 7. 市売問屋

構造材の国産材は産地の出荷意欲旺盛も需要の盛上がりには欠け低調な商い、外材はEURの先高観から管柱、間柱の品不足感が増している。造作材は国産材は建具用スギ桁平は動き堅調も、入荷順調で、値上がり感はない。外材はスプルーは依然、需要旺盛だが産地の伐採減少、中国向け需要多く、日本への入荷少なく不足感は解消せず。買方も勝ち負けの差がはっきりしだし、全般的に手持ち仕事量は細る一方、良材に食指動かすも模様眺めの当用買いに徹し、特市以外来場も少ない。例年11月から年末にかけて需要が多少活発化するが、一向に盛り上がる気配無く、一般景気動向同様、低調なムード漂い先行き益々不透明。

## 8. 小売

国産材の構造材価格は、スギKD柱、小割、板割、ヒノキKD柱、土台いずれも保合。外材は、米ツガKD平割、正角、ロシアアカマツ垂木、WW間柱いずれも保合。造作材はスプルー、ナラ、タモの平割良材少なく、いずれも強保合。WW、RW集成材は梁、柱とも保合。針葉樹合板は弱保合、ラワン合板は保合。床板、フローアは変わらず。プレカット工場は、加工費・材料価格変わらず。町場工務店の仕事が少し出てきた。工務店にもよるが、新築の引き合いが多くなってきている。価格的には厳しいが仕事に結び付けたい。

11月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→

矢印の表示は本月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	→
			スギ中丸太(3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材(3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×4m	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	→
			米マツ カスケード(カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↘
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	↘
		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	→	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	→
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	→
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産		スギ 無化粧 10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→